

～まぼろしの城～
蒔田城を訪ねて

昔、蒔田にお城があった


蒔田コミュニティハウス

募集から当日

令和4年度 蒔田コミュニティハウス自主事業
～まぼろしの城～

蒔田城を訪ねて

昔、蒔田にお城があった



足利将軍家分家吉良氏の蒔田城（別名「蒔田御所」）が横浜英和学院周辺にありました。
南区郷土の歴史研究会の方に蒔田城についてお話しいただき、その後、蒔田城跡を訪ねます。

日 時：令和4年 **11月23日**（水）勤労感謝の日
9時30分～12時（予定）
少雨実施：荒天時はレクチャーのみ **参加費無料**

集合場所：蒔田コミュニティハウス
レクチャー後、現地へ（丘を登ります）
対象者：小学校4年生以上 15名（先着順）
申込方法：**10月28日（金）10時から**
蒔田コミュニティハウスで直接お申込み下さい。

※新型コロナウイルス感染症感染状況により中止・変更することがあります

主催：蒔田コミュニティハウス
協賛：蒔田地区連合町内会、蒔田地区社会福祉協議会
蒔田地区老人会、蒔田地区子供会

南区郷土の歴史研究会のご協力を得て、蒔田コミュニティハウス平成4年度自主事業として「～まぼろしの城～蒔田城を訪ねて」の参加者を募集したところ、事前のお問い合わせも多く、募集初日に3時間で定員に達しました。

当日はあいにくの雨でしたが、12人のご参加をいただき、午後からの大雨に備えてコースを一部省略し、急な階段などを避けることとして出発しました。

レクチャーと蒔田橋



挨拶と簡単なレクチャーの後、さっそく出発。



鎌倉街道から蒔田橋を望む。この道も古くから使われていた。金沢道は保土谷宿へ続く。

市営地下鉄第1号車搬入の地と百段階段



途中、鎌倉街道沿いに市営地下鉄第1号車搬入の地のポールを確認



横から見ても急な階段、当日は登りませんでした

百段階段（横浜英和学院さんの通学路）



この階段からもお城が険しい丘の上だったことが判ります。今は生徒さんたちの通学路。



百段階段と呼ばれてますが、実際は100段以上

西森稲荷



お城の南西の角にある西森稲荷神社



横の階段にもいくつかの社があり、一番上の木立の中のお社が一番古いそうです。

金沢道とお城山



細いですが、かつては金沢へ続く道と伝えられています



つづら折れ坂へ向かう道からお城山を望む

出城跡と百段階段



城めぐりから望む出城跡、今は頂上まで家が建ってます



百段階段を上から望む

横浜英和学院正門と礼拝堂



大手門があったと言われる正門付近

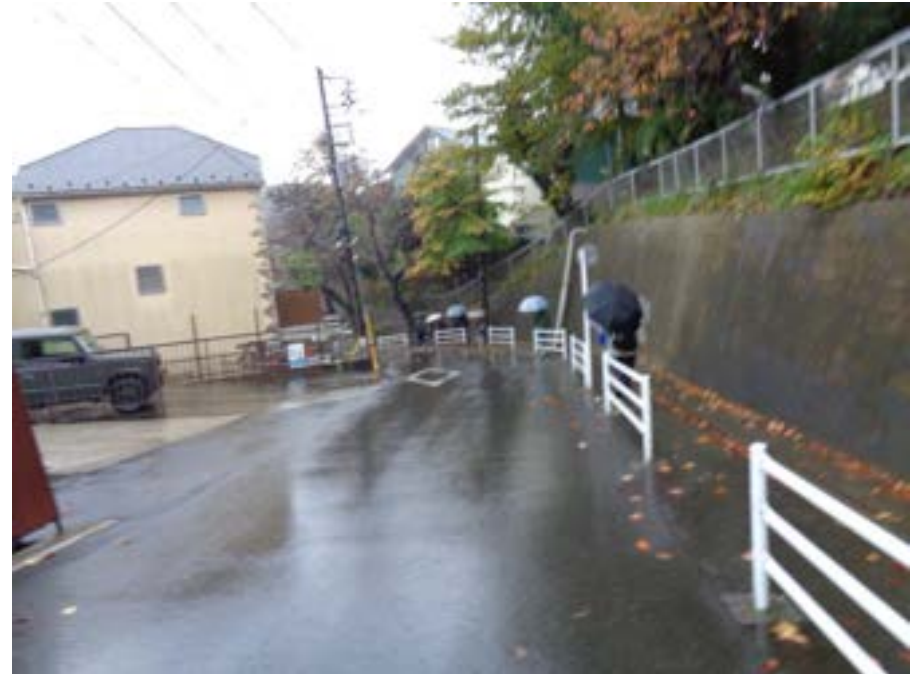


天守台があったと言われる礼拝堂付近

成美学園遺跡の案内と城めぐり



横浜英和学院正門横にある成美学園遺跡の案内-縄文時代早期からの集落跡の遺跡です



本丸大手門(横浜英和学院正門付近)から勝国寺へ下る坂(城めぐり)

勝国寺と吉良氏供養塔



吉良氏の館跡と勝国寺との関係が記されています



横浜市地域史跡「吉良氏の供養塔」について述べられています

勝国寺山門と本堂



勝国寺山門



勝国寺本堂

供養塔への坂と湧き水



蒔田城主吉良左京太夫政忠公供養塔への
坂-雨のため登りませんでした・・・



坂への入り口脇にある湧き水「しみずの泉」

蒔田の森公園



蒔田の森公園です。奥のばんばひろばは馬場から来ており、馬の調練が行われたそうです。



家老森家の屋敷跡です。森があったわけでは
ありません。

蒔田城復元図と公園内



案内には西ヶ谷恭介氏による復元図もあります。



公園から本丸を見上げています。

湧き水と階段



今も水が湧いています。



奥には上に上る階段もあります。立ち入り禁止ですが・・・

辰巳の門



そこには第二次世界大戦まで辰巳の門がありました。



今も礎石が残っていて、往時を偲ぶことができます。

無量寺



鎌倉街道近くの無量寺です。鎌倉法師貞暁阿闍梨により承元3年（1209）に創建されました。



貞暁は源頼朝の4番目の子ですが、政子の子ではなく、伊達氏の開祖朝宗の娘大進局が母です。

- ・今回、歩いてみると知らないことも多く、鎌倉街道・金澤道を扼し、大岡川も近く、湧き水にも恵まれた、お城にはうってつけの地であったと感じました。

- ・参加希望も多く、雨のために行けなかったところもあるため、来年度以降も実施していきたいと考えています。

- ・画像には後日撮影したものもあります。

